

11月19日 (木)

シンポジウム 1

11月19日 (木) 10:00～12:00
第1会場 (福岡国際会議場 3F メインホール)

今後の医療と介護の行方 ～R8 診療報酬改定と R9 介護報酬改定を見据えて～

座 長：池端幸彦 (日本慢性期医療協会 副会長)

S1-1 今後の医療と介護の行方～R8 診療報酬と R9 介護報酬を見据えて～
—医療と介護の健全な持続へ向けて—
江澤和彦 (日本医師会 常任理事)

S1-2 持続可能な医療提供体制の構築に向けて
西嶋康浩 (厚生労働省 保険局医療課 課長)

S1-3 今後の医療と介護の行方～令和 9 年度介護報酬改定を見据えて～
堀 裕行 (厚生労働省 老健局老人保健課 課長)

特別講演

11月19日 (木) 13:20～14:20
第1会場 (福岡国際会議場 3F メインホール)

Well-being とまちづくり

座 長：中尾一久 (第 34 回日本慢性期医療学会 学会長)

SL Well-being とまちづくり
鈴木 寛 (ウェルビーイング学会 副代表理事)

シンポジウム 2

11月19日 (木) 14:30～16:30
第1会場 (福岡国際会議場 3F メインホール)

医療 DX とまちづくり

座 長：田中 滋 (埼玉県立大学 理事長)

S2-1 医療 DX とまちづくり—「病院」から「健院」への転換が地域の未来を創る—
神野正博 (恵寿総合病院 理事長)

S2-2 医療 DX とまちづくり
松田晋哉 (福岡国際医療福祉大学 学長・教授)

S2-3 富家病院の DX の取り組み
富家隆樹 (富家病院 理事長)

シンポジウム 3

11月19日（木）16:40～18:40

第1会場（福岡国際会議場 3F メインホール）

健康経営とまちづくり

座 長：尾形裕也（九州大学 名誉教授）

-
- S3-1 医療機関における健康経営—健康と生産性の関連
津野陽子（埼玉県立大学 健康開発学科 健康情報学専攻/大学院研究科 准教授）
-
- S3-2 健康経営からはじまる地域共生社会（まちづくり）の実現
～玉昌会グループの挑戦と慢性期医療の果たす役割～
高田昌実（玉昌会グループ 代表）
-
- S3-3 健康経営から始まる、持続可能なまちづくり—職員・組織・地域を元気にする好循環—
織田正道（織田病院 理事長）
-

日本介護医療院協会セミナー

11月19日（木）13:20～15:20

第2会場（福岡国際会議場 2F 203+204）

介護医療院への期待と課題

座 長：田中圭一（日本介護医療院協会 副会長）

-
- LCS-1 日本介護医療院協会 2026 年度調査結果報告
鈴木龍太（日本介護医療院協会 会長）
-
- LCS-2 介護医療院への期待と課題
小山秀夫（社会医療研究所 所長）
-

第 14 回慢性期リハビリテーション学会シンポジウム

11月19日（木）15:30～17:30

第2会場（福岡国際会議場 2F 203+204）

医療機関と在宅（施設）との橋渡し

～メディカルケアマネジャーの役割を考える～

座 長：安藤正夫（日本慢性期医療協会 常任理事）

-
- CRS-1 医療と介護をつなぐ橋渡し役となれ—メディカルケアマネジャーの役割—
武久洋三（日本慢性期医療協会 名誉会長）
-
- CRS-2 住み慣れた地域へつなぐ退院支援～ヨコクラ病院が実践する切れ目のない地域連携～
今村綾子（ヨコクラ病院 地域連携室 室長・看護師）
-
- CRS-3 住み慣れた我が家・地域で、新しい生活を創る
—病院での回復を地域生活につなぐ理学療法士からの視点—
山本 亮（千里リハビリテーション病院 セラピー部 室長・PT）
-
- CRS-4 医療と在宅の架け橋となるメディカルケアマネジャーの役割
梶原喜美子（地域包括ケアステーション高良台 ケアマネジャー）
-

11月20日（金）

シンポジウム 4

11月20日（金） 9:00～11:00

第1会場（福岡国際会議場 3F メインホール）

慢性期医療（かかりつけ医）とまちづくり

座 長：橋本康子（日本慢性期医療協会 会長）

S4-1 地域密着型中小病院はまちづくりの主役へ
—かかりつけ医機能では診療所を支援し地域を面で支える中心に—
鈴木邦彦（志村大宮病院 理事長）

S4-2 人を「患者」に閉じ込めないまちづくり
—最期まで“このまちの人”でいられる慢性期医療—
田中志子（内田病院 理事長）

S4-3 慢性期病院が地域にひらくもの—谷田病院におけるまちづくりの歩みと新たな展開—
藤井将志（谷田病院 事務部長）

特別座談会

11月20日（金） 11:10～12:10

第1会場（福岡国際会議場 3F メインホール）

医療界のレジェンドとマドンナ

これからどうなる

～日本の医療の行方～

座 長：中尾一久（第34回日本慢性期医療学会 学会長）

SRD-1 横倉義武（日本医師会 名誉会長）

SRD-2 武久洋三（日本慢性期医療協会 名誉会長）

SRD-3 橋本康子（日本慢性期医療協会 会長）

シンポジウム 5

11月20日（金）13:30～15:30

第1会場（福岡国際会議場 3F メインホール）

まちづくりに向けた各専門職の取り組み ～リハビリテーション・栄養・嚥下・排泄の視点～

座 長：矢野 諭（日本慢性期医療協会 副会長）

-
- S5-1 栄養から、暮らし続けられるまちをつくる
ー「食べる・動く・帰る」をつなぐリハビリテーション栄養ー
吉村芳弘（熊本リハビリテーション病院 サルコペニア・低栄養センター長）
-
- S5-2 神経変性疾患の長期的食支援ー住み慣れた地域で食べ続けるためにー
梅本丈二（福岡大学 摂食嚥下センター センター長）
-
- S5-3 排尿トラブルの予防・改善は健康寿命を伸ばす
西尾俊治（南高井病院 院長）
-

シンポジウム 6

11月20日（金）9:00～10:00

第2会場（福岡国際会議場 2F 203+204）

ホワイト 500 を目指した健康経営

座 長：岡田邦夫（特定非営利活動法人 健康経営研究会 理事長）

-
- S6-1 ホワイト 500 を目指した健康経営の推進：社員主体の健康づくりと社外への価値提供
保土田純（大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業グループ
ソーシャルヘルス・リレーション部 次長）
-
- S6-2 医療のプロだからこそ陥る落とし穴と、現場から変える健康経営
～ホワイト 500 連続取得の裏にある実務担当者の葛藤と医療機関の強み～
塚田裕樹（原土井病院 法人本部）
-

地域病病連携推進機構シンポジウム

11月20日（金）10:10～12:10
第2会場（福岡国際会議場 2F 203+204）

地域連携と高齢者救急～急性期病院の責務は？～

座 長：上西紀夫（地域病病連携推進機構 理事長）
小山信彌（日本私立医科大学協会 参与）

RDS-SL 高齢者救急を支える急性期病院の役割～医療・生活・尊厳をつなぐ～
林修一郎（内閣感染症危機管理統括庁 内閣審議官
前 厚生労働省保険局医療課長）

RDS-1 地域連携と高齢者救急～病院救急車の運用実態から急性期病院の責務などを論考する～
有賀 徹（戸田中央メディカルケアグループ 理事長補佐・最高顧問）

RDS-2 2040 年の高齢者救急と地域医療の再設計
—急性期病院・慢性期病院・在宅医療の新たな役割分担—
高橋 泰（国際医療福祉大学大学院 医療経営管理分野 教授）

RDS-3 地域の実情を掘り上げ、「治し支える医療」へ
中尾浩一（済生会熊本病院 院長）
